

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,183	3,276	93	(注1)
施設整備費補助金	107	127	20	(注2)
補助金等収入	-	18	18	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	27	36	9	(注4)
自己収入	1,707	1,685	△ 22	
授業料及入学金検定料収入	1,638	1,611	△ 27	(注5)
雑収入	69	74	5	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	85	118	33	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	11	11	(注8)
計	5,109	5,271	162	
支出				
業務費	4,890	4,896	6	
教育研究経費	4,890	4,896	6	(注9)
施設整備費	134	163	29	(注10)
補助金等	-	18	18	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	85	118	33	(注12)
計	5,109	5,195	86	
収入-支出	-	76	76	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の決算額については、退職者数が見込みより増えたことによる退職手当の増加分等を含んでおります。このため、予算額に比して決算額が93百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった補助金等が交付されたことにより、予算額に比して決算額が20百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金等が交付されたことにより、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、当初の見込みよりも交付決定額が多かったことにより、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注5) 授業料及入学金検定料収入については、見込みと実績の差、授業料免除実施の追加決定により、予算額に比して決算額が27百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、見込みと実績の差等の理由により予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等収入額及び寄附金受入額の増加等の理由により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、教育研究環境整備工事に対して取崩を行ったことにより、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、教育研究環境整備工事に対して目的積立金の取崩を行った等の理由により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、注2及び注4に示した理由により、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、注3に示した理由により、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、注7で示した理由等により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。